

120歳通信 2020年11月号（617分の98号）

発行元 444-0124 愛知県額田郡幸田町深溝上池田36 税理士法人TMS 吉見典生

Tel.0564-62-8144 090-2348-2126 Fax0564-62-9696

E-mail papi@tms21.jp URL: <http://tms21.jp>

第25回はがきびとの集い in 幸田開催のお知らせ

先にお知らせしました開催要領と若干の変更がありますのでご了承ください。

参加希望者は新型コロナウイルス感染予防にご協力ください。当日熱が高いとか、体調不良等の方は参加を見合わせてください。

テーマ：新型コロナウイルスとはがき道

第1部

場所：税理士法人TMS（上記所在地の通り）

日時：令和2年11月21日（土）午後1:30～4:30（12時より受付）

催事：2分間スピーチ（参加者全員）テーマは「新型コロナウイルスとはがき道」または自由

特別出演：中川みほさん——フィジー体験記 嬉しがりや——夫婦で生演奏 伊坪浩幸さん——笑う体操

塚本英夫——歌って踊って笑いヨガ 吉見典生——ひと筆書き世界一周の旅 笑う世界に鬼はなし

定員：20名（定員オーバーの時はキャンセル待ちとなります）

贈物：（参加者には吉見の近著『ひと筆書き世界一周の旅①笑う世界に鬼はなし』を贈呈します。

参加費：1,000円（当日お支払いください）

第2部

場所：西尾市幡豆町東幡豆 岡田屋（第1部終了し次第車で乗り合わせて行きます）

日時：令和2年11月21日（土）第1部終了後開始、翌朝朝食後解散

催事：近海のお魚料理を楽しみながら、おしゃべり。翌朝は天気良ければ日の出を見ながら笑いヨガ。

参加費：10,000円（当日お支払いください）

定員：10名（定員オーバーの時はキャンセル待ちとなります）

10月28日現在参加者名簿（お申込み順・敬称略・最近の吉見はボケ気味ですから、記載漏れ、記載しすぎがあるかもしれません。間違いまたは変更がありましたらご連絡ください）（○印は第2部も参加）

稲垣孝志 石河きよみ○

伊坪浩幸 塚本英夫○

小川けい子○小林博文

西田京子○ 森田耀介○

石井君和 藤川直紀○

鈴木克昌 東愛知新聞の記者 古川敬司○ 楠本行時

楠本千代和 中川みほ○

嶋津光一 吉見典生○（定員になり次第締め切らせていただきますが、変更ある方は090-2348-2126へお早めにお知らせください。）

写真は中川みほさん。

フィジーにて→



120歳通信 2020年12月号（617分の99号）

発行元 444-0124 愛知県額田郡幸田町深溝上池田36 税理士法人 TMS 吉見典生

TEL 0564-62-8144 090-2348-2126 Fax 0564-62-9696

URL www.waraiyoga.pw E-mail papi@tms21.jp

久しぶりに本を出しました

ひと筆書き世界一周の旅 ①

笑う世界に

鬼はなし

2016年10月12日家を出て、航空機を使わずに列車、船、バス、徒歩で世界を駆け巡りました。韓国、中国を経て10月30日カスピ海に着きました。2017年6月24日カスピ海を貨物船でアゼルバイジャンに着き、コーカサス地方を経て黒海に着き、トルコ、ブルガリア、コソボ、アルバニア、イタリア、地中海を船でスペインへ行き、ジブラルタル海峡をアフリカ大陸へ渡り、7月ポルトガルからスペインのカミーユ・ザ・サンチャゴの巡礼に参加し、2019年9月北欧4か国をバスと列車で回り9月15日よりバルト三国を巡り、9月25日シベリア鉄道でウラジオストクにたどり着き、船で韓国東海(トンヘ)経由で境港に帰ってきました。

旅行中、FBを多用し、メル友とのやり取りをふんだんに紹介させていただきました。いわば、この本はメル友との共作とでもいえるものです。

「ひと筆書き世界一周の旅」はこれからも続きます。コロナが収まってくれば、航空機を使わずに、再び家から船でロシアへ渡り、シベリアを車で走り、ベーリング海峡を地元の漁師にお願いしてアラスカへ渡り、北米、南米を歩き、最後は船で南極半島へたどり着きます。

今回の第一作の『ひと筆書き世界一周の旅①笑う世界に鬼はなし』は150冊しか作りません。これまで注文のあった方分と、メル友など執筆に協力してくれた方などに差し上げる分を除けば残りの販売させていただく部数はわずかとなります。ご購入の方はお早めにお申し込みください。1冊 3,000円(税込み)です。お申し込みは携帯電話090-2348-2126(吉見)までよろしくお願いします。

